

終末と再臨⑤要約

ルカの福音書21:29-36

2014、8、3 HKJCF

1

概観

序)①再臨の確実性と解釈の重要性②再臨準備の信仰の緊急性③イエス様の譬え

1、キリストを主とする マタイ24:45-51

2、信仰の目を覚ます 同25:1-13

3、賜物を活用する 同25:14-30

4、愛を実践する 同25:31-40

祈り)再臨の主を迎えるため、私に真の信仰と愛の実践を与えてください

そのため聖霊の油を満たしてください

2

I キリストを主とするマタイ24:45-51

- 1、キリストは救い主であるだけでなく、私たちの地上の生活・人生の主
- 2、人間は地上の生活・人生・自然環境や宇宙の所有者ではなく管理者
- 3、終末と再臨は管理者としての人間の地上の人生の決算期、報告責任を果たす時
⇒一日の眠り、毎週の礼拝、安息年、死の準備、終末と再臨が私たちの決算期

3

II 信仰の目を覚ますマタイ25:1-13

- 1、賢い娘の油の用意、愚かな娘の油断
- 2、賢い娘は油を分けられなかった
- 3、油断した娘を花婿は知らないと言った
⇒本当の賢さは信仰と聖霊の油を絶やさず、花婿の到来に備えて地上を信仰で生きていくこと

4

III 賜物を活用する同25:14-30

- 1、与えられたタラントには相違がある
- 2、主人はタラントに関わらず活用し、増加させたことを喜び、報われた
- 3、タラントを増やさなかった人は
 - ①恐れと不信頼で賜物を活用しなかった
 - ②神の国の原則は信頼・活用・収穫

参)マルコ4:26-32

⇒神の愛と聖霊の確信(神の子としてのID)・人生の使い方(管理者としての自覚)・真の報酬(目的主導・実り豊かな人生)

5

IV 愛を実践するマタイ25:31-40

- 1、愛を実践するヒツジの生き方
- 2、愛を実践しないヤギの生き方
- 3、お返しを期待できない者たちへの真実な愛の行為(自意識と報酬からの自由)は主ご自身へしたことと同様

参)マタイ6:1-4

⇒真の報いは意外なことから、主は①飢えた者②旅人③裸な者④病人⑤入獄者の側に立ち、自らを同一化される。

6